

夏休み明けは”できている”ことにもう一度、目を向けよう

夏休みはいかがお過ごしでしたか？久しぶりの登園でお子さんも生活リズムを取り戻そうと頑張っていると思います。心も体も疲れやすい夏休み明けに、お子さんが息切れしないように、私たち保護者がサポートしたいですね。例えば、朝のあいさつが元気よくできた、お着替えが上手にできた、準備を自分でできた、お箸セットを自分で出せたなど些細なことができていたらたくさん褒めて”できている”ことに目を向け、励ましてあげましょう。きっとそれがお子さんの励みになりリズムを取り戻すエネルギーになります！

夏休み中に行った様々な体験活動から学びを

子どもは、色々な体験を通して成長します。身体能力・非認知的能力・社会性を獲得する上でとても大切なことです。

- ①キャンプ、登山、川遊び、農業体験などの自然体験活動。
- ②職場体験、ボランティア活動、地域活動などの社会体験活動。
- ③博物館、美術館、音楽鑑賞、演劇鑑賞などの文化芸術体験活動。

等々

※非認知的能力とは、乳幼児期の自発的な遊びの中で育まれる、やり抜く力や協調性などのことで、この力が小学校以降の学びにつながります。



＜参考＞ 家庭教育応援ナビ「すくすく育ていばらきっ子」茨城県教育委員会



「家庭教育応援ナビ」QRコード



「家庭教育応援ナビ」公式X QRコード



@Katei_sukusuku
すくすく育ていばらきっ子

